

様式第2号（概要）（学部学科等の課程）

認定を受けようとする大学の課程の概要

大学名	大阪教育大学（学部学科等の課程）						
設置者名	国立大学法人 大阪教育大学						
大学の位置	（柏原キャンパス）大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1（天王寺キャンパス）大阪府大阪市天王寺区南河堀町4-88						
学部名	学科等名	入学定員	設置年度	認定を受けようとする免許状の種類（免許教科・領域）	現在認定を受けている免許状の種類（免許教科・領域）（認定年度）		
教育学部	初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	-	平成29年度	幼一種免 小一種免	幼一種免 (令和元年度)		
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	-	平成29年度	幼一種免 小一種免	小一種免 (令和元年度)		
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間コース	-	平成29年度	小一種免	中一種免（国語） (令和元年度)	特支一種免 (認・施・知・教・研) (平成29年度)	
	学校教育教員養成課程	-	平成22年度		中一種免（社会） (令和元年度)		
					中一種免（数学） (令和元年度)		
					中一種免（理科） (令和元年度)		
					中一種免（音楽） (令和元年度)		
					中一種免（美術） (令和元年度)		
					中一種免（保健体育） (令和元年度)		
					中一種免（技術） (令和元年度)		
					中一種免（家庭） (令和元年度)		
					中一種免（英語） (令和元年度)		
					高一種免（国語） (令和元年度)		
					高一種免（地理歴史） (令和元年度)		
					高一種免（公民） (令和元年度)		
					高一種免（数学）		

				(令和元年度) 高一種免（理科） (令和元年度) 高一種免（音楽） (令和元年度) 高一種免（美術） (令和元年度) 高一種免（書道） (令和元年度) 高一種免（保健体育） (令和元年度) 高一種免（家庭） (令和元年度) 高一種免（工業） (令和元年度) 高一種免（英語） (令和元年度)		
学校教育教員養成課程	480	令和 6 年度	幼一種免 小一種免 中一種免（国語） 中一種免（社会） 中一種免（数学） 中一種免（理科） 中一種免（音楽） 中一種免（美術） 中一種免（保健体育） 中一種免（技術） 中一種免（家庭） 中一種免（英語） 高一種免（国語） 高一種免（地理歴史） 高一種免（公民） 高一種免（数学） 高一種免（理科） 高一種免（音楽） 高一種免（美術） 高一種免（書道） 高一種免（保健体育） 高一種免（家庭） 高一種免（情報） 高一種免（工業） 高一種免（英語） 特支一種免 (視・聴・知・肢・ 病)			
学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間） 5 年専攻	40	令和 6 年度	小一種免			
養護教諭養成課程	30	昭和 51 年度				養教一種免 (令和元年度)
教育協働学科	350	平成 29 年度		中一種免（国語） (令和元年度) 中一種免（数学） (令和元年度) 中一種免（理科）		養教一種免 (令和元年度)

					(令和元年度) 中一種免（音楽） (令和元年度) 中一種免（美術） (令和元年度) 中一種免（保健体育） (令和元年度) 中一種免（家庭） (令和元年度) 中一種免（英語） (令和元年度) 高一種免（国語） (令和元年度) 高一種免（数学） (令和元年度) 高一種免（理科） (令和元年度) 高一種免（音楽） (令和元年度) 高一種免（美術） (令和元年度) 高一種免（保健体育） (令和元年度) 高一種免（家庭） (令和元年度) 高一種免（英語） (令和元年度)	
入学定員合計	900					
備考					・教育学部学校教育教員養成課程は、現在認定を受けている初等教育教員養成課程と学校教育教員養成課程を一本化する改組を行うため、現在設置認可申請中（予定）である。現行の教育学部初等教育教員養成課程と学校教育教員養成課程については、取り下げ届提出予定。	

様式第2号（幼・領域及び保育内容の指導法）①

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（幼・領域及び保育内容の指導法に関する科目）								
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 領域及び保育内容の指導法に関する科目 16単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学		
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		教職専任教員			
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数				
幼一種免	領域及び保育内容の指導法に関する専門的事項	健 康	幼児と健康	1				
		人間関係	幼児と人間関係	1	戸田 有一 裴 光雄	芦田 祐佳		
		環 境	幼児と環境	1	種村 雅子 垣本 徹			
		言 葉	幼児と言葉	1	田中 俊弥			
		表 現	幼児と表現 I 幼児と表現 II	1 1	松井 祐 吉野 秀幸			
		領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）	6単位	●教職専任教員数（合計 8人				
		・教員の免許状取得のための選択科目	0単位	●必要教職専任教員数 24人				

様式第2号（幼・領域及び保育内容の指導法）②

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（幼・領域及び保育内容の指導法に関する科目）													
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 領域及び保育内容の指導法に関する科目 16単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学							
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目		教職専任教員			備考						
		授業科目	単位数	必修	選択	教授	准教授	講師	助教				
幼一種免	領域及び保育内容の指導法に関する科目	健康の指導法 環境の指導法 表現の指導法 I 表現の指導法 II 人間関係の指導法 言葉の指導法	2 2 1 1 2 2	中橋 美穂									
●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			10単位	●教職専任教員数（合計）		1人					
		・教員の免許状取得のための選択科目		0単位									

様式第2号（小・教科及び教科の指導法に関する科目）①

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（小・教科及び教科の指導法に関する科目）									
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 20単位 (必要単位数の不足10単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>			2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学	
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			教職専任教員			備考
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目		単位数	共通開設	教授	准教授	
小一種免 <small>教科及び教科の指導法に関する科目</small>	国語 (書写を含む。)	国語（書写及びICTの活用を含む。）	必修 1	選択 1	学校種等 1	学科等 1	田中 俊弥		備考
	社会	社会（ICTの活用を含む。）					倉本 香		
	算 数	算数（ICTの活用を含む。）					森岡 達史	富永 雅	
	理 科	理科（ICTの活用を含む。）						平川 尚毅	
	生 活	生活（ICTの活用を含む。）					裴 光雄	芦田 祐佳	
	音 樂	音楽（ICTの活用を含む。）					吉野 秀幸		
	図画工作	図画工作（ICTの活用を含む。）					松井 祐		
	家 庭	家庭（ICTの活用を含む。）							
	体 育	体育（ICTの活用を含む。）						森井 亮和	
	外 国 語	英語（ICTの活用を含む。）							
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目									
●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			10単位	●教職専任教員数（合計） 10人			
		・教員の免許状取得のための選択科目			0単位	●必要教職専任教員数 28人			
		・「教科に関する専門的事項」及び「各教科の指導法」の必修単位数の合計			20単位	(昼間と夜間の課程を合わせる)			

様式第2号（小・教科及び教科の指導法に関する科目）①

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（小・教科及び教科の指導法に関する科目）								
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間）5年専攻	入学定員 40	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 30単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学		
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			教職専任教員		
	科目区分	各科目に含めなければならない事項	授業科目	単位数	共通開設	教授	准教授	講師
小一種免 教科及び教科の指導法に関する教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項 に係る教科の指導法に係る教科の事項	国語 (書写を含む。)	国語a (書写及びICTの活用を含む。) 国語b (書写及びICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 (田中俊弥) (田中俊弥)	准教授 講師 助教	
	社会	社会a (ICTの活用を含む。) 社会b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 (裴光雄)	准教授 講師 助教	
	算数	算数a (ICTの活用を含む。) 算数b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 (森岡達史) (森岡達史)	准教授 講師 助教	
	理科	理科a (ICTの活用を含む。) 理科b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 准教授 講師 助教	准教授 講師 助教	
	生活	生活a (ICTの活用を含む。) 生活b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 (裴光雄) (裴光雄)	准教授 講師 助教	
	音楽	音楽a (ICTの活用を含む。) 音楽b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 (吉野秀幸) (吉野秀幸)	准教授 講師 助教	
	図画工作	図画工作a (ICTの活用を含む。) 図画工作b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 (松井祐) (松井祐)	准教授 講師 助教	
	家庭	家庭a (ICTの活用を含む。) 家庭b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 准教授 講師 助教	准教授 講師 助教	
	体育	体育a (ICTの活用を含む。) 体育b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 准教授 講師 助教	准教授 講師 助教	
	外国語	英語a (ICTの活用を含む。) 英語b (ICTの活用を含む。)		必修 1 1	選択 1 1	学校種等 教授 准教授 講師 助教	准教授 講師 助教	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る教科								
● 単位数 ・ 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 20単位						● 教職専任教員数（合計） 0人		
・ 教員の免許状取得のための選択科目 0単位						● 必要教職専任教員数 (昼間と夜間の課程を合わせる) 28人		

様式第2号（小・教科及び教科の指導法に関する科目）②

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（小・教科及び教科の指導法に関する科目）											
認定を受けようとする学部・学科等		教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 20単位 (必要単位数の不足10単位は「指定大学が加える科目」を充てる)			2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学		
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員			備考	
	科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目		単位数	共通開設	教授	准教授	講師	
小一種免 教科及び教科の指導法へ情報通信技術の活用を含む。 ～	各教科の指導法へ情報通信技術の活用を含む。	国語 (書写を含む。)	初等国語科教育法（書写を含む。）	1				住田 勝			
		社会	初等社会科教育法	1				飯島 敏文			
		算数	算数科教育法	1				東尾 晃世			
		理科	初等理科教育法	1				石川 聰子			
		生活	生活科教育法	1				佐久間 敦史			
		音楽	初等音楽科教育法	1				兼平 佳枝			
		図画工作	図画工作科教育法	1				渡邊 美香			
		家庭	初等家庭科教育法	1				大本 久美子			
		体育	体育科教育法	1				井上 功一			
		外国語	初等英語科教育法	1				小林 翔			
●単位数 ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） •教員の免許状取得のための選択科目								10単位	●教職専任教員数（合計） 10人	0単位	

様式第2号（小・教科及び教科の指導法に関する科目）②

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（小・教科及び教科の指導法に関する科目）								
認定を受けようとする学部・学科等		教育学部	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間）5年専攻	入学定員 40	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 30単位		2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員	
	科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目		単位数 必修 選択	共通開設 学校種等 学科等	
小一種免 教科及び教科の指導法へ情報通信技術の活用を含む。～	各教科の指導法に適用を含む。	国語 (書写を含む。)	初等国語科教育法（書写を含む。）	1			(住田 勝)	
		社会	初等社会科教育法	1			(飯島 敏文)	
		算数	算数科教育法	1			(東尾 晃世)	
		理科	初等理科教育法	1			(石川 聰子)	
		生活	生活科教育法	1			(佐久間 敦史)	
		音楽	初等音楽科教育法	1			(兼平 佳枝)	
		図画工作	図画工作科教育法	1			(渡邊 美香)	
		家庭	初等家庭科教育法	1			(大本 久美子)	
		体育	体育科教育法	1			(井上 功一)	
		外国語	初等英語科教育法	1			(小林 翔)	
● 単位数 ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） • 教員の免許状取得のための選択科目							10単位 0単位	● 教職専任教員数（合計） 0人

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 20単位 (必要単位数の不足8単位は「指定大学が加える科目」を充てる)	2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			教職専任教員				
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数 必修 選択	共通開設 学校種等	教授	准教授	講師 助教		
中一種免 (国語) 教 科 及 び に 關 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 的 事 項 す る 科	教 科 及 び に 關 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 的 事 項 す る 科	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論A	1 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)			音声言語及び文章表現に関するものを含む。	
			国語学概論B	1 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)			音声言語及び文章表現に関するものを含む。	
			国語学特論A	1 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)				
			国語学特論B	1 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)				
			国語学講義 IA	1 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)				
			国語学講義 IB	1 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)				
			国語学講義 II	2 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)				
			国語学研究 I	2 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)				
			国語学研究 II	2 高(国語)	同 同 同	井上 博文 (井上 博文)				
			国文学概論A	1 高(国語) (書道)	同 同 同	成實 朋子 (成實 朋子)			国文学史を含む。	
			国文学概論B	1 高(国語) (書道)	同 同 同	堀 淳一 (堀 淳一)			国文学史を含む。	
			国文学特論A	1 高(国語)	同 同 同	堀 淳一 (堀 淳一)				
			国文学特論B	1 高(国語)	同 同 同	成實 朋子 (成實 朋子)				
			国文学講義 IA	1 高(国語)	同 同 同	成實 朋子 (成實 朋子)				
			国文学講義 IB	1 高(国語)	同 同 同	堀 淳一 (堀 淳一)				
			国文学講義 II	2 高(国語)	同 同 同	堀 淳一 (堀 淳一)				
			国文学研究 I	2 高(国語)	同 同 同	成實 朋子 (成實 朋子)				
			国文学研究 II	2 高(国語)	同 同 同	堀 淳一 (堀 淳一)				
			漢文学概論A	1 高(国語) (書道)	同 同					
			漢文学概論B	1 高(国語) (書道)	同 同					
			書道概論 I (書写を中心とする。)	1 高(書道)	同 同 同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)				
			書道概論 II (書写を中心とする。)	1 高(書道)	同 同 同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)				
			仮名書法研究 I	1 高(書道)	同 同 同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)				
			仮名書法研究 II	1 高(書道)	同 同 同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)				
			楷書法研究 I	1 高(書道)	同 同 同	池田 利広 (池田 利広)				
			楷書法研究 II	1 高(書道)	同 同 同	池田 利広 (池田 利広)				
			行書法研究 I	1 高(書道)	同 同 同	池田 利広 (池田 利広)				
			行書法研究 II	1 高(書道)	同 同 同	池田 利広 (池田 利広)				
			漢字作品制作 I	1 高(書道)	同 同 同	池田 利広 (池田 利広)				
			仮名作品制作 I	1 高(書道)	同 同 同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)				
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等国語科教育法 I 中等国語科教育法 II 中等国語科教育法 III 中等国語科教育法 IV	2 高(国語) 2 高(国語) 2 高(国語) 2 高(国語)	同 同 同 同				
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数					36単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 5人				
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)					0単位	●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人				
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)					20単位					
D. 教員の免許状取得のための選択科目					24単位					

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 22単位 (必要単位数の不足 6 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員			
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設		教授	准教授	講師	助教
中一種免 (社会)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 事 項 に 關 す る 科 目	日本史・外国史	日本史概説	2	高 (地歴)	同	櫻澤 誠			
			世界史概説	2	高 (地歴)	同	(櫻澤 誠)			
			歴史探究の基礎	2	高 (地歴)	同	(櫻澤 誠)			
			日本史特講Ⅰ	2	高 (地歴)	同	(櫻澤 誠)			
			日本史特講Ⅱ	2	高 (地歴)	同	(櫻澤 誠)			
			東洋史特講	2	高 (地歴)	同	(櫻澤 誠)			
		地理学（地誌を含む。）	西洋史特講	2	高 (地歴)	同	(櫻澤 誠)			
			地誌概論	2	高 (地歴)	同	山近 博義			
			地理学概論	2	高 (地歴)	同	山田 周二			
			自然地理学の基礎	2	高 (地歴)	同	(山田 周二)			
		「法律学、政治学」	人文地理学の基礎	2	高 (地歴)	同	(山田 周二)			
			自然地理学特講	2	高 (地歴)	同	(山田 周二)			
			人文地理学特講	2	高 (地歴)	同	(山田 周二)			
			地理探究の基礎	2	高 (地歴)	同	(山田 周二)			
			法律学	2	高 (公民)	同				
			政治学	2	高 (公民)	同				
		「社会学、経済学」	社会学	2	高 (公民)	同	串田 秀也			
			経済学	2	高 (公民)	同	小林 和美			
			社会調査	2	高 (公民)	同	(串田 秀也)			
			社会学特講	2	高 (公民)	同				
		「哲学、倫理学、宗 教学」	哲学の基礎	2	高 (公民)	同	松本 啓二朗			
			倫理学の基礎	2	高 (公民)	同	(松本 啓二朗)			
			人間と宗教	2	高 (公民)	同	(松本 啓二朗)			
			哲学諸問題	2	高 (公民)	同	(松本 啓二朗)			
			西洋思想概論	2	高 (公民)	同	(松本 啓二朗)			
			倫理学諸問題	2	高 (公民)	同				
		教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目	中等社会科（地歴）教育法Ⅰ	2	高 (地歴)	同				
			中等社会科（公民）教育法Ⅱ	2	高 (公民)	同				
			中等社会科（地歴）教育法Ⅲ	2	高 (地歴)	同				
			中等社会科（公民）教育法Ⅳ	2	高 (公民)	同				
			各教科の指導法（情報 通信技術の活用を含む。）							

● 単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 52単位

B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 0単位

C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) 22単位

D. 教員の免許状取得のための選択科目 38単位

● 教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 6人

● 必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）																	
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 22単位 (必要単位数の不足 6 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係							
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員										
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設		必修	選択	学校 種等	学科 等							
中一種免 (数学)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 科 目	代数学	代数学a	2	高 (数学)	同 同 同 同 同 同	馬場 良始 (馬場 良始)	岡安 類 (岡安 類)									
			代数学b	2													
			線形代数学a	2													
			線形代数学b	2													
			代数学c	2													
			代数学I	2													
		幾何学	代数学II	2	高 (数学)	同 同 同 同	馬場 良始 (馬場 良始)	岡安 類 (岡安 類)									
			幾何学	2													
			距離空間	2													
			幾何学I	2													
		解析学	幾何学II	2													
			解析学a	2	高 (数学)	同 同 同 同 同 同 同 同	(岡安 類) (岡安 類)	(岡安 類)									
			解析学b	2													
			微分積分学a	2													
			微分積分学b	2													
			解析学c	2													
			解析学I	2													
			解析学II	2													
			応用数理I	2													
			応用数理II	2													
		「確率論、統計学」	確率・統計概論	2	高 (数学)	同 同	(貞末 岳) (貞末 岳)	(岡安 類)									
			確率論	2													
		コンピュータ	コンピュータ	2	高 (数学)	同	(貞末 岳)										
		教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目															
		各教科の指導法（情報 通信技術の活用を含 む。）		数学科教育法 I	2	高 (数学)	同 同 同 同										
				数学科教育法 II	2												
				数学科教育法 III	2												
				数学科教育法 IV	2												
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数					46単位		●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人										
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)					0単位		●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人										
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)					22単位												
D. 教員の免許状取得のための選択科目					32単位												

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）											
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 20単位 (必要単位数の不足 8 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係	
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数	共通 開設		教授	准教授	講師	助教
中一種免 (理科)	教 科 及 び 教 科 す る 指 導 法 に 關 す る 的 關 す	物理学	物理学 IA		1	高 (理科)	同	深澤 優子 (深澤 優子) (鈴木 康文) (深澤 優子) (鈴木 康文)	深澤 優子 (深澤 優子) (鈴木 康文) (深澤 優子) (鈴木 康文)		
			物理学 II A		1	高 (理科)	同				
			物理学 I B		1	高 (理科)	同				
			物理学 II B		1	高 (理科)	同				
			物理学 III		1	高 (理科)	同				
			科学のための数学		2	高 (理科)	同				
			力学		2	高 (理科)	同				
			電磁気学		2	高 (理科)	同				
			熱力学		2	高 (理科)	同				
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験 I		1	高 (理科)	同	(鈴木 康文)	(深澤 優子)		
			物理学実験 II		1	高 (理科)	同	(鈴木 康文)	(深澤 優子)		
		化学	化学 IA		1	高 (理科)	同	種田 将嗣 (種田 将嗣) (種田 将嗣) (種田 将嗣)	種田 将嗣 (種田 将嗣) (種田 将嗣) (種田 将嗣)		
			化学 II A		1	高 (理科)	同				
			化学 I B		1	高 (理科)	同				
			化学 II B		1	高 (理科)	同				
			化学 III		1	高 (理科)	同				
			無機化学入門		2	高 (理科)	同				
			物理化学		2	高 (理科)	同				
			反応有機化学		2	高 (理科)	同				
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験 I		1	高 (理科)	同	(種田 将嗣)	(種田 将嗣)		
			化学実験 II		1	高 (理科)	同				
		生物学	生物学 IA		1	高 (理科)	同				
			生物学 II A		1	高 (理科)	同				
			生物学 I B		1	高 (理科)	同				
			生物学 II B		1	高 (理科)	同				
			生物学 III		1	高 (理科)	同				
			動物科学		2	高 (理科)	同				
			植物科学		2	高 (理科)	同				
			生命科学		2	高 (理科)	同				
		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験 I		1	高 (理科)	同				
			生物学実験 II		1	高 (理科)	同				
		地学	地学 IA		1	高 (理科)	同	吉本 直弘 (吉本 直弘)	松本 桂 (松本 桂) (松本 桂)		
			地学 II A		1	高 (理科)	同				
			地学 I B		1	高 (理科)	同				
			地学 II B		1	高 (理科)	同				
			地学 III		1	高 (理科)	同				
			気象学		2	高 (理科)	同				

る 科 目	天文学	2	高 (理科)	同		(松本 桂)		
	地球学	2	高 (理科)	同		(吉本 直弘)	(松本 桂)	
	地学野外実習	1	高 (理科)	同				
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験 I	1	高 (理科)	同	(吉本 直弘)	(松本 桂)	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等理科教育法 I	2	高 (理科)	同			
		中等理科教育法 II	2	高 (理科)	同			
		中等理科教育法 III	2	高 (理科)	同			
		中等理科教育法 IV	2	高 (理科)	同			
<ul style="list-style-type: none"> ● 単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) D. 教員の免許状取得のための選択科目 				54単位	● 教職専任教員数（教科に関する専門的事項）	5人		
				0単位	● 必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項)	4人		
				20単位				
				42単位				

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）									
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 22単位 (必要単位数の不足 6 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>				2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員		
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設				
中一種免 (音楽)	教 科 及 び 教 科 す の る 指 導 法 に 的 關	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	ソルフェージュ	1	高 (音楽)	同	猿谷 紀郎 玉井 裕子 (浦田 恵子) (浦田 恵子)	浦田 恵子 (浦田 恵子) (浦田 恵子)	
			演奏基礎（こえ）	1	高 (音楽)	同			
			合唱指導法（混声）I	1	高 (音楽)	同			
			合唱指導法（混声）II	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（こえ）I	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（こえ）II	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（こえ）III	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（こえ）IV	1	高 (音楽)	同			
			舞台表現演習（伝統音楽を含む。）	2	高 (音楽)	同			
			合唱指導法（混声）III	1	高 (音楽)	同			
			合唱指導法（混声）IV	1	高 (音楽)	同			
			合唱指導法（混声）V	1	高 (音楽)	同			
			合唱指導法（混声）VI	1	高 (音楽)	同			
			同声合唱I	1	高 (音楽)	同			
			同声合唱II	1	高 (音楽)	同			
			同声合唱III	1	高 (音楽)	同			
			同声合唱IV	1	高 (音楽)	同			
			ピアノ伴奏法	1	高 (音楽)	同			
			演奏基礎（ピアノ）	1	高 (音楽)	同			
			合奏I	1	高 (音楽)	同			
			和楽器アンサンブルI	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（ピアノ）I	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（ピアノ）II	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（ピアノ）III	1	高 (音楽)	同			
			演奏表現（ピアノ）IV	1	高 (音楽)	同			
			合奏II	1	高 (音楽)	同			
			合奏III	1	高 (音楽)	同			
			合奏IV	1	高 (音楽)	同			
			合奏V	1	高 (音楽)	同			
			合奏VI	1	高 (音楽)	同			
			管弦（雅楽）I	2	高 (音楽)	同			
			和楽器アンサンブルII	1	高 (音楽)	同			
			和楽器アンサンブルIII	1	高 (音楽)	同			
			和楽器アンサンブルIV	1	高 (音楽)	同			
			指揮法	アンサンブル指揮法	高 (音楽)	同	(猿谷 紀郎)		
			創作表現I	1	高 (音楽)	同	(猿谷 紀郎)		

日本の伝統的な歌唱を含む。

作曲法(編曲法を含む。)

す る る 科 目	事 項	音楽学Ⅰ	2	高 (音楽)	同				音楽理論及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）			
		音楽学Ⅱ	2	高 (音楽)	同				音楽理論及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）			
		創作表現Ⅱ	1	高 (音楽)	同			(猿谷 紀郎)				
		創作表現Ⅲ	1	高 (音楽)	同			(猿谷 紀郎)				
		創作表現Ⅳ	1	高 (音楽)	同			(猿谷 紀郎)				
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目											
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等音楽科教育法Ⅰ 中等音楽科教育法Ⅱ 中等音楽科教育法Ⅲ 中等音楽科教育法Ⅳ	2 2 2 2	高 (音楽) 高 (音楽) 高 (音楽) 高 (音楽)	同 同 同 同							
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)					46単位 0単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人 ●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人						
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目的単位数を含む)					22単位							
D. 教員の免許状取得のための選択科目					32単位							

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）											
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 20単位 (必要単位数の不足 8 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係	
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数	共通 開設		教授	准教授	講師	助教
中一種免 (美術) 教 科 及 び 教 科 の 指 導 方 に 關 す る 指 導 方 に 關 す る 科 目	教 科 及 び 教 科 の 指 導 方 に 關 す る 指 導 方 に 關 す る 科 目	絵画(映像メディア表現を含む。)	絵画・彫刻表現基礎A	1	高 (美術)	同					映像メディア表現を含む。 ※1
			絵画・彫刻表現研究A	1	高 (美術)	同					※1の科目より 2 科目 2 単位選択必修
			絵画・彫刻表現発展研究A	1	高 (美術)	同					※1
			美術表現の基礎	2	高 (美術)	同					
			絵画基礎演習	4	高 (美術)	同					
		彫刻	絵画・彫刻表現基礎B	1	高 (美術)	同	加藤 可奈衛				※1
			絵画・彫刻表現研究B	1	高 (美術)	同	(加藤 可奈衛)				
			絵画・彫刻表現発展研究B	1	高 (美術)	同	(加藤 可奈衛)				
			彫刻演習	2	高 (美術)	同	(加藤 可奈衛)				
			コミュニケーションとアート	2	高 (美術)	同	(加藤 可奈衛)				
		デザイン(映像メディア表現を含む。)	デザイン・工芸表現基礎A	1	高 (美術)	同		谷村 さくら			映像メディア表現を含む。 ※2
			デザイン・工芸表現研究A	1	高 (美術)	同		(谷村 さくら)			
			デザイン・工芸表現発展研究A	1	高 (美術)	同		(谷村 さくら)			
			デザイン演習	2	高 (美術)	同		(谷村 さくら)			
			材料研究A	2	高 (美術)	同					
		工芸	図法	2	高 (美術)	同					※2の科目より 2 科目 2 単位選択必修
			デザイン・工芸表現基礎B	1							※2
			デザイン・工芸表現研究B	1							
			デザイン・工芸表現発展研究B	1							
			材料研究B	2							
		美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	工芸制作 I	1							
			工芸制作 II	1							
			日本美術史概論	2	高 (美術)	同		高間 由香里			鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。
			美術理論 I	2	高 (美術)	同		(高間 由香里)			
			デザイン・工芸史	2	高 (美術)	同		(高間 由香里)			
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	日本東洋美術史	2	高 (美術)	同		(高間 由香里)			
			美術理論 II	2	高 (美術)	同		(高間 由香里)			
			美術史演習 I	2	高 (美術)	同		(高間 由香里)			
			美術史演習 II	2	高 (美術)	同		(高間 由香里)			
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
			美術科教育法 I	2	高 (美術)	同					
			美術科教育法 II	2	高 (美術)	同					
			美術科教育法 III	2	高 (美術)	同					
			美術科教育法 IV	2	高 (美術)	同					

●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数	46単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)	0単位	●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目的単位数を含む)	20単位	
D. 教員の免許状取得のための選択科目	34単位	

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）												
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 21単位 (必要単位数の不足 7 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係		
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員					
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数	共通 開設						
中一種免 (保健体育)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 方 法 に 關 す る 專 門 的 事 項 す る 科 目	体育実技 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。) 生理学(運動生理学を含む。) 衛生学・公衆衛生学 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	水泳	1	高 (保健体育)	同	太田 順康	小川 剛司	石川 美久	鉄口 宗弘 (太田 順康)		
			器械運動	1	高 (保健体育)	同						
			陸上競技	1	高 (保健体育)	同						
			ダンス	1	高 (保健体育)	同						
			体つくり運動	1	高 (保健体育)	同						
			剣道	1	高 (保健体育)	同						
			柔道	1	高 (保健体育)	同						
			ソフトボール	1	高 (保健体育)	同						
			バレーボール	1	高 (保健体育)	同						
			テニス	1	高 (保健体育)	同						
			サッカー	1	高 (保健体育)	同						
			バスケットボール	1	高 (保健体育)	同						
			ラグビー	1	高 (保健体育)	同						
			スキー実習	2	高 (保健体育)	同						
			スポーツ教育原理	2	高 (保健体育)	同	(太田 順康)	林 洋輔	(石川 美久)	運動方法学を含む。 運動方法学を含む。		
			スポーツ社会学	2	高 (保健体育)	同						
			スポーツ心理学	2	高 (保健体育)	同						
			スポーツマネジメント論	2	高 (保健体育)	同						
			体育史	2	高 (保健体育)	同						
			運動学Ⅰ	1	高 (保健体育)	同						
			運動学Ⅱ	1	高 (保健体育)	同						
			武道指導論	2	高 (保健体育)	同						
			学校と地域スポーツ	2	高 (保健体育)	同						
			運動生理学Ⅰ	1	高 (保健体育)	同	(鉄口 宗弘)					
			運動生理学Ⅱ	1	高 (保健体育)	同						
			スポーツと栄養	2	高 (保健体育)	同						
			衛生学及び公衆衛生学Ⅰ	1	高 (保健体育)	同	(小川 剛司)					
			衛生学及び公衆衛生学Ⅱ	1	高 (保健体育)	同						
			学校保健Ⅰ	1	高 (保健体育)	同	(小川 �剛司)					
			学校保健Ⅱ	1	高 (保健体育)	同						
			発育発達学	2	高 (保健体育)	同	(鉄口 宗弘)					
			保健体育科教育法Ⅰ	2	高 (保健体育)	同						
			保健体育科教育法Ⅱ	2	高 (保健体育)	同						
			保健体育科教育法Ⅲ	2	高 (保健体育)	同						

備考

※1
(※1の2科目より1科目1
単位選択必修)※2
(※2の6科目より1科目1
単位選択必修)※3
(※3の5科目より1科目2
単位選択必修)小児保健、精神保健、学校安全
及び救急処置を含む。小児保健、精神保健、学校安全
及び救急処置を含む。

		保健体育科教育法IV	2	高 (保健体育)	同				
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数			41単位			●教職専任教員数 (教科に関する専門的事項) 5人			
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)			0単位			●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人			
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目的単位数を含む)			21単位						
D. 教員の免許状取得のための選択科目			28単位						

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）																
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 22単位 (必要単位数の不足 6 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>					2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係						
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目					教職専任教員								
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数	共通 開設										
中一種免 (技術)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 事 項 に 關 す る 科 目	木材加工（製図及び 実習を含む。）	木材加工学I（実習を含む。）		1	高 (工業)	同	永富 一之	成田 一人	成田 一人						
			製図I		1	高 (工業)	同	(永富 一之)								
			木材加工学実習		1	高 (工業)	同									
			木材加工学II（実習を含む。）		1	高 (工業)	同									
			木材加工学III		2	高 (工業)	同									
		金属加工（製図及び 実習を含む。）	製図II		1	高 (工業)	同	(成田 一人)	(成田 一人)	成田 一人						
			金属加工学I（実習を含む。）		1	高 (工業)	同									
			金属加工学実習		1	高 (工業)	同									
			金属加工学II（実習を含む。）		1	高 (工業)	同									
		機械（実習を含 む。）	金属加工学III		2	高 (工業)	同	(成田 一人)	(成田 一人)	成田 一人						
			機械工学I		2	高 (工業)	同									
			機械工学実験		1	高 (工業)	同									
		機械工学II		電気（実習を含 む。）	2	高 (工業)	同	(成田 一人)	(成田 一人)	成田 一人						
		電気工学I			2	高 (工業)	同									
		電気工学実験			1	高 (工業)	同									
		電気工学II			2	高 (工業)	同									
		電子計算機 制御・情報工学			2	高 (工業)	同									
		栽培（実習を含む。）		栽培I(実習を含む。)	1	高 (工業)	同	(篠澤 一彦)	(篠澤 一彦)	篠澤 一彦						
		栽培II			1	高 (工業)	同									
		栽培III			1	高 (工業)	同									
		情報基礎(実習を含む。)		情報とコンピュータ (実習を含む。)	2	高 (工業)	同	(光永 法明)	(光永 法明)	光永 法明						
		情報基礎実習			1	高 (工業)	同									
		プログラミング入門			2	高 (工業)	同									
		データ処理			2	高 (工業)	同									
		情報処理			2	高 (工業)	同									
		教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目														
		各教科の指導法（情報 通信技術の活用を含 む。）		技術科教育法 I		2	高 (工業)	同								
		技術科教育法 II		技術科教育法 III		2	高 (工業)	同								
		技術科教育法 IV				2	高 (工業)	同								
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数					37単位		●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人									
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)					0単位		●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 4人									
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)					22単位											
D. 教員の免許状取得のための選択科目					23卖位											

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）											
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 20単位 (必要単位数の不足 8 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係		
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設						
中一種免 (家庭)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 方 法 に 關 す る 事 項 す る 科 目	家庭経営学(家族関 係学及び家庭経済学 を含む。)	生活経営学 I (家庭経済学を含む。)	1	高 (家庭)	同	鈴木 真由子				
			家族関係学 I	1	高 (家庭)	同	小崎 恭弘				
			生活経営学 II	1	高 (家庭)	同	(鈴木 真由子)				
			家族関係学 II	1	高 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
		被服学(被服製作実 習を含む。)	被服学 I	1	高 (家庭)	同	山田 由佳子				
			被服製作実習 I	1	高 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服製作実習 II	1	高 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服学 II	1	高 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
		食物学(栄養学、食 品学及び調理実習を 含む。)	被服学 III	1	高 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服製作実習 III	1	高 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服学実験	2	高 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			食物学 I (栄養学及び食品学を含む。)	1	高 (家庭)	同	井奥 加奈				
		食物学(栄養学、食 品学及び調理実習を 含む。)	調理学実習 I	1	高 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			調理学実習 II	1	高 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			食物学 II	1	高 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			食物学 III	1	高 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
		住居学	調理学実習 III	1	高 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			食物学実験	2	高 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			住居学 I	1	高 (家庭)	同					
			住居学演習 I (製図を含む。)	1	高 (家庭)	同					
		保育学(実習を含 む。)	住居学 II	1	高 (家庭)	同					
			住居学演習 II	1	高 (家庭)	同					
			住環境と安全	2	高 (家庭)	同					
			保育学 I	1	高 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
		保育学(実習を含 む。)	保育学実習 I (家庭看護を含む。)	1	高 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			保育学 II	1	高 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			保育学 III	1	高 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			保育学実習 II	1	高 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
		各教科の指導法 (情 報通信技術の活用を含 む。)	保育学演習	2	高 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目								
			中等家庭科教育法 I	2	高 (家庭)	同					
			中等家庭科教育法 II	2	高 (家庭)	同					
		各教科の指導法 (情 報通信技術の活用を含 む。)	中等家庭科教育法 III	2	高 (家庭)	同					
			中等家庭科教育法 IV	2	高 (家庭)	同					
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数					33単位	●教職専任教員数 (教科に関する専門的事項) 4人					
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)					0単位	●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 4人					
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)					20単位						
D. 教員の免許状取得のための選択科目					21卖位						

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 20単位 (必要単位数の不足 8 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員			
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設		必修	選択	学校 種等	学科 等
中一種免 (英語)	教科に 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 科 目	英語学	英語音声学 I	2	高 (英語)	同	寺田 寛 (寺田 寛)	橋本 健一		
			英文法研究	2						
			英語音声学 II	2						
			応用言語学	2						
			英語学研究 I	2						
		英語文学	英語学研究 II	2	高 (英語)	同	(寺田 寛)			
			Introduction to English Linguistics I	2						
		英語コミュニケーション	Introduction to English Linguistics II	2	高 (英語)	同				プール ジャステイン ペーカー
			Integrated English I	2						
			Integrated English II	2						
			Advanced Communication I	2						
			Advanced Communication II	2						
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	Advanced Communication III	2	高 (英語)	同				
			Advanced Communication IV	2						
			Academic Writing	2						
			Speech Communication in English I	2						
			Speech Communication in English II	2						
		異文化理解	比較文化論	2	高 (英語)	同				
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等英語科教育法 I	2	高 (英語)	同			
				中等英語科教育法 II	2					
				中等英語科教育法 III	2					
				中等英語科教育法 IV	2					

●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 40単位

B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 0単位

C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 20単位

D. 教員の免許状取得のための選択科目 28単位

●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人

●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）														
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 16単位 (必要単位数の不足8単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係					
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員							
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数		共通 開設								
高一種免 (国語)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 事 項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論A	1	中 (国語)	同	井上 博文	音声言語及び文章表現に関するものを含む。 音声言語及び文章表現に関するものを含む。						
			国語学概論B	1	中 (国語)	同	(井上 博文)							
			国語学特論A	1	中 (国語)	同	(井上 博文)							
			国語学特論B	1	中 (国語)	同	(井上 博文)							
			国語学講義ⅠA	1	中 (国語)	同	(井上 博文)							
			国語学講義ⅠB	1	中 (国語)	同	(井上 博文)							
			国語学講義Ⅱ	2	中 (国語)	同	(井上 博文)							
			国語学研究Ⅰ	2	中 (国語)	同	(井上 博文)							
			国語学研究Ⅱ	2	中 (国語)	同	(井上 博文)							
		国文学 (国文学史を含む。)	国文学概論A	1	中 (国語) 高 (書道)	同	成實 朋子	国文学史を含む。 国文学史を含む。						
			国文学概論B	1	中 (国語) 高 (書道)	同	堀 淳一							
			国文学特論A	1	中 (国語)	同	(堀 淳一)							
			国文学特論B	1	中 (国語)	同	(成實 朋子)							
			国文学講義ⅠA	1	中 (国語)	同	(成實 朋子)							
			国文学講義ⅠB	1	中 (国語)	同	(堀 淳一)							
			国文学講義Ⅱ	2	中 (国語)	同	(堀 淳一)							
			国文学研究Ⅰ	2	中 (国語)	同	(成實 朋子)							
			国文学研究Ⅱ	2	中 (国語)	同	(堀 淳一)							
		漢文学	漢文学概論A	1	中 (国語) 高 (書道)	同		※これら4科目より2科目 2単位選択必修						
			漢文学概論B	1	中 (国語) 高 (書道)	同								
	教科及び教科の指導法に関する複数の事項を合わせた内容に係る科目													
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			中等国語科教育法Ⅰ	2	中 (国語)	同	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人						
				中等国語科教育法Ⅱ	2	中 (国語)	同							
				中等国語科教育法Ⅲ	2	中 (国語)	同	●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人						
				中等国語科教育法Ⅳ	2	中 (国語)	同							
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) D. 教員の免許状取得のための選択科目				26単位		●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人 ●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人								
				0単位										
				16単位										
				18単位										

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）									
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 18単位 (必要単位数の不足6単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				教職専任教員	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	共通開設				
高一種免 (地理歴史)	教科及び教科の指導法に関する専門的事項	日本史	日本史概説	2	中 (社会)	同	教授	櫻澤 誠 (櫻澤 誠)	備考
			歴史探究の基礎	2	中 (社会)	同	准教授	(櫻澤 誠)	
			日本史特講Ⅰ	2	中 (社会)	同	講師	(櫻澤 誠)	
			日本史特講Ⅱ	2	中 (社会)	同	助教	(櫻澤 誠)	
		外国史	世界史概説	2	中 (社会)	同	教授		※
			東洋史特講	2	中 (社会)	同	准教授		
			西洋史特講	2	中 (社会)	同	講師		
		人文地理学・自然地理学	自然地理学の基礎	2	中 (社会)	同	教授	山田 周二 (山田 周二)	※これら8科目より2科目 4単位選択必修
			人文地理学の基礎	2	中 (社会)	同	准教授	(山田 周二)	
			自然地理学特講	2	中 (社会)	同	講師	山近 博義 (山田 周二)	
		地誌	人文地理学特講	2	中 (社会)	同	助教	(山田 周二)	※
			地理探究の基礎	2	中 (社会)	同	教授		
		教科及び教科の指導法に関する専門的事項	地理学概論	2	中 (社会)	同	准教授		
			地誌概論	2	中 (社会)	同	講師		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等社会科（地歴）教育法Ⅰ	2	中 (社会)	同		
				中等社会科（地歴）教育法Ⅲ	2	中 (社会)	同		
● 単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) D. 教員の免許状取得のための選択科目					28単位	● 教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人 ● 必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人			

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 18単位 (必要単位数の不足6単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係	
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員			
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	共通開設					
高一種免 (公民)	教科及び教科の指導法に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」		必修 2	選択 2	中（社会） 中（社会）	同 同	教授 串田 秀也	准教授 小林 和美 (串田 秀也)	
		「社会学、経済学（国際経済を含む。）」		社会学 社会調査 社会学特講 経済学	2 2 2 2	中（社会） 中（社会） 中（社会） 中（社会）	同 同 同 同			
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		哲学の基礎 倫理学の基礎 哲学諸問題 西洋思想概論 倫理学諸問題 人間と宗教	2 2 2 2 2 2	中（社会） 中（社会） 中（社会） 中（社会） 中（社会） 中（社会）	同 同 同 同 同 同	松本 啓二朗 (松本 啓二朗) (松本 啓二朗)		
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等社会科（公民） 教育法II 中等社会科（公民） 教育法IV	2 2		中（社会） 中（社会）	同 同			
● 単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) D. 教員の免許状取得のための選択科目					24単位	● 教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人 ● 必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人				
					0単位					
					18単位					
					10単位					

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）													
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 18単位 (必要単位数の不足 6 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員						
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設		教授	准教授	講師	助教			
高一種免 (数学)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 科 目	代数学	代数学a	2	中 (数学)	同	馬場 良始 (馬場 良始)						
			代数学b	2	中 (数学)	同							
			線形代数学a	2	中 (数学)	同							
			線形代数学b	2	中 (数学)	同							
			代数学c	2	中 (数学)	同							
			代数学 I	2	中 (数学)	同							
		幾何学	代数学 II	2	中 (数学)	同							
			幾何学	2	中 (数学)	同							
			距離空間	2	中 (数学)	同							
			幾何学 I	2	中 (数学)	同							
		解析学	幾何学 II	2	中 (数学)	同							
			解析学a	2	中 (数学)	同							
			解析学b	2	中 (数学)	同							
			微分積分学a	2	中 (数学)	同							
			微分積分学b	2	中 (数学)	同							
			解析学c	2	中 (数学)	同							
			解析学 I	2	中 (数学)	同							
			解析学 II	2	中 (数学)	同							
		「確率論、統計学」	応用数理 I	2	中 (数学)	同							
			応用数理 II	2	中 (数学)	同							
			確率論	2	中 (数学)	同							
		コンピュータ	コンピュータ	2	中 (数学)	同							
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目											
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		数学科教育法 I	2	中 (数学)	同						
				数学科教育法 II	2	中 (数学)	同						
				数学科教育法 III	2	中 (数学)	同						
				数学科教育法 IV	2	中 (数学)	同						
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数					46単位		●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人						
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)					0単位		●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人						
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)					18単位								
D. 教員の免許状取得のための選択科目					36卖位								

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）																
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 16単位 (必要単位数の不足 8 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係						
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員									
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数	共通 開設		教授	准教授	講師	助教					
高一種免 (理科)	教 科 及 に び 教 科 す の る 指 導 法 に 的 関 す	物理学	物理学 IA		1	中 (理科)	同	深澤 優子 (深澤 優子) (鈴木 康文) (深澤 優子) (鈴木 康文)								
			物理学 II A		1	中 (理科)	同	鈴木 康文 (鈴木 康文) (深澤 優子) (鈴木 康文)								
			物理学 IB		1	中 (理科)	同									
			物理学 II B		1	中 (理科)	同									
			物理学 III		1	中 (理科)	同									
			科学のための数学		2	中 (理科)	同									
			力学		2	中 (理科)	同									
			電磁気学		2	中 (理科)	同									
			熱力学		2	中 (理科)	同									
		化学	化学 IA		1	中 (理科)	同					種田 将嗣 (種田 将嗣) (種田 将嗣)				
			化学 II A		1	中 (理科)	同									
			化学 IB		1	中 (理科)	同									
			化学 II B		1	中 (理科)	同									
			化学 III		1	中 (理科)	同									
			無機化学入門		2	中 (理科)	同									
			物理化学		2	中 (理科)	同									
			反応有機化学		2	中 (理科)	同									
		生物学	生物学 IA		1	中 (理科)	同					(吉本 直弘) (吉本 直弘) (吉本 直弘)				
			生物学 II A		1	中 (理科)	同									
			生物学 IB		1	中 (理科)	同									
			生物学 II B		1	中 (理科)	同									
			生物学 III		1	中 (理科)	同									
			動物科学		2	中 (理科)	同									
			植物科学		2	中 (理科)	同									
			生命科学		2	中 (理科)	同									
		地学	地学 IA		1	中 (理科)	同					吉本 直弘 (吉本 直弘) (吉本 直弘)				
			地学 II A		1	中 (理科)	同									
			地学 IB		1	中 (理科)	同									
			地学 II B		1	中 (理科)	同									
			地学 III		1	中 (理科)	同									
			気象学		2	中 (理科)	同									
			天文学		2	中 (理科)	同									
			地球学		2	中 (理科)	同									
			地学野外実習		1	中 (理科)	同									
		「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験 I」	物理学実験 I		1	中 (理科)	同					(鈴木 康文) (鈴木 康文)				
			化学実験 I		1	中 (理科)	同									
			生物学実験 I		1	中 (理科)	同									

る 科 目	じゅくにあたる事項 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	地学実験 I	1	中 (理科)	同	(吉本 直弘)	(松本 桂)		コンピュータ活用を含む。	
		物理学実験 II	1	中 (理科)	同	(鈴木 康文)	(深澤 優子)			
		化学実験 II	1	中 (理科)	同		(種田 将嗣)			
		生物学実験 II	1	中 (理科)	同					
		中等理科教育法 I	2	中 (理科)	同					
		中等理科教育法 II	2	中 (理科)	同					
		中等理科教育法 III	2	中 (理科)	同					
		中等理科教育法 IV	2	中 (理科)	同					
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) D. 教員の免許状取得のための選択科目					54単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 5人				
					0単位	●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 4人				
					16単位					
					46単位					

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）								
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 18単位 (必要単位数の不足 6 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>			2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			教職専任教員		
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設			
高一種免 (音楽)	教 科 及 び 教 科 す の る 指 導 法 に 的 關	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	ソルフェージュ	1	中 (音楽)	同	猿谷 紀郎	
			演奏基礎（こえ）	1	中 (音楽)	同		浦田 恵子
			合唱指導法（混声）I	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			合唱指導法（混声）II	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			演奏表現（こえ）I	1	中 (音楽)	同	玉井 裕子	(浦田 恵子)
			演奏表現（こえ）II	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			演奏表現（こえ）III	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			演奏表現（こえ）IV	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			舞台表現演習（伝統音楽を含む。）	2	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			合唱指導法（混声）III	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			合唱指導法（混声）IV	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			合唱指導法（混声）V	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			合唱指導法（混声）VI	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			同声合唱I	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			同声合唱II	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			同声合唱III	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			同声合唱IV	1	中 (音楽)	同		(浦田 恵子)
			ピアノ伴奏法	1	中 (音楽)	同		平井 裕也
			演奏基礎（ピアノ）	1	中 (音楽)	同		(平井 裕也)
			合奏I	1	中 (音楽)	同		
			和楽器アンサンブルI	1	中 (音楽)	同		(平井 裕也)
			演奏表現（ピアノ）I	1	中 (音楽)	同		(平井 裕也)
			演奏表現（ピアノ）II	1	中 (音楽)	同		(平井 裕也)
			演奏表現（ピアノ）III	1	中 (音楽)	同		(平井 裕也)
			演奏表現（ピアノ）IV	1	中 (音楽)	同		(平井 裕也)
			合奏II	1	中 (音楽)	同		
			合奏III	1	中 (音楽)	同		
			合奏IV	1	中 (音楽)	同		
			合奏V	1	中 (音楽)	同		
			合奏VI	1	中 (音楽)	同		
			管弦（雅楽）I	2	中 (音楽)	同		
			和楽器アンサンブルII	1	中 (音楽)	同		
			和楽器アンサンブルIII	1	中 (音楽)	同		
			和楽器アンサンブルIV	1	中 (音楽)	同		
			指揮法	アンサンブル指揮法	1	中 (音楽)	(猿谷 紀郎)	
			創作表現 I	1	中 (音楽)	同	(猿谷 紀郎)	

日本の伝統的な歌唱を含む。

作曲法(編曲法を含む。)

す る る 科 目	事 項	音楽学Ⅰ	2	中 (音楽)	同				音楽理論及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）
		音楽学Ⅱ	2	中 (音楽)	同				音楽理論及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）
		創作表現Ⅱ	1	中 (音楽)	同			(猿谷 紀郎)	
		創作表現Ⅲ	1	中 (音楽)	同			(猿谷 紀郎)	
		創作表現Ⅳ	1	中 (音楽)	同			(猿谷 紀郎)	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等音楽科教育法Ⅰ 中等音楽科教育法Ⅱ 中等音楽科教育法Ⅲ 中等音楽科教育法Ⅳ	2 2 2 2	中 (音楽) 中 (音楽) 中 (音楽) 中 (音楽)	同 同 同 同				
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目的単位数を含む) D. 教員の免許状取得のための選択科目					46単位 0単位 18単位 36単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人 ●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人			

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）														
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 16単位 (必要単位数の不足 8 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係				
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員							
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数	共通 開設		教授	准教授	講師	助教			
高一種免 (美術)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 に 關 す る 科 目	絵画(映像メディア表現を含む。)	絵画・彫刻表現基礎A		1	中 (美術)	同							
			絵画・彫刻表現研究A		1	中 (美術)	同							
			絵画・彫刻表現発展研究A		1	中 (美術)	同							
			美術表現の基礎		2	中 (美術)	同							
			絵画基礎演習		4	中 (美術)	同							
		彫刻	絵画・彫刻表現基礎B		1	中 (美術)	同	加藤 可奈衛						
			絵画・彫刻表現研究B		1	中 (美術)	同	(加藤 可奈衛)						
			絵画・彫刻表現発展研究B		1	中 (美術)	同	(加藤 可奈衛)						
			彫刻演習		2	中 (美術)	同	(加藤 可奈衛)						
			コミュニケーションとアート		2	中 (美術)	同	(加藤 可奈衛)						
		デザイン(映像メディア表現を含む。)	デザイン・工芸表現基礎A		1	中 (美術)	同		谷村 さくら					
			デザイン・工芸表現研究A		1	中 (美術)	同		(谷村 さくら)					
			デザイン・工芸表現発展研究A		1	中 (美術)	同		(谷村 さくら)					
			デザイン演習		2	中 (美術)	同		(谷村 さくら)					
			材料研究A		2	中 (美術)	同							
			図法		2	中 (美術)	同							
		美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	日本美術史概論		2	中 (美術)	同		高間 由香里					
			美術理論 I		2	中 (美術)	同		(高間 由香里)					
			デザイン・工芸史		2	中 (美術)	同		(高間 由香里)					
			日本東洋美術史		2	中 (美術)	同		(高間 由香里)					
			美術理論 II		2	中 (美術)	同		(高間 由香里)					
			美術史演習 I		2	中 (美術)	同		(高間 由香里)					
			美術史演習 II		2	中 (美術)	同		(高間 由香里)					
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目												
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		美術科教育法 I	2	中 (美術)	同						
			美術科教育法 II		2	中 (美術)	同							
			美術科教育法 III		2	中 (美術)	同							
			美術科教育法 IV		2	中 (美術)	同							
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数					39単位		●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人							
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)					0単位		●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人							
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)					16単位									
D. 教員の免許状取得のための選択科目					31卖位									

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部		学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 16単位 (必要単位数の不足8単位は「指定大学が加える科目」を充てる)			2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係	
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				教職専任教員		
	科目区分		各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数		共通 開設		
高一種免 (書道)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 に 關 す る 項	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 に 關 す る 項	書道(書写を含む。)							
			<u>書道概論Ⅰ</u> （書写を中心とする。）		1	中 (国語)	同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)		
			<u>書道概論Ⅱ</u> （書写を中心とする。）		1	中 (国語)	同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)		
			<u>楷書法研究Ⅰ</u>		1	中 (国語)	同	池田 利広 (池田 利広)		
			<u>楷書法研究Ⅱ</u>		1	中 (国語)	同	池田 利広 (池田 利広)		
			<u>行書法研究Ⅰ</u>		1	中 (国語)	同	池田 利広 (池田 利広)		
			<u>行書法研究Ⅱ</u>		1	中 (国語)	同	池田 利広 (池田 利広)		
			<u>草書法研究Ⅰ</u>		1	中 (国語)	同	池田 利広 (池田 利広)		
			<u>草書法研究Ⅱ</u>		1	中 (国語)	同	池田 利広 (池田 利広)		
			<u>仮名書法研究Ⅰ</u>		1	中 (国語)	同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)		
			<u>仮名書法研究Ⅱ</u>		1	中 (国語)	同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)		
			<u>篆刻法演習</u>		2			(池田 利広)		
			<u>篆書法演習</u>		2			(池田 利広)		
			<u>隸書法演習</u>		2			(池田 利広)		
			<u>漢字作品制作Ⅰ</u>		1	中 (国語)	同	(池田 利広)		
			<u>漢字作品制作Ⅱ</u>		1	中 (国語)	同	(池田 利広)		
			<u>仮名作品制作Ⅰ</u>		1	中 (国語)	同	瀬川 賢一 (瀬川 賢一)		
			<u>仮名作品制作Ⅱ</u>		1			瀬川 賢一 (瀬川 賢一)		
			<u>書道研究基礎Ⅰ</u>		1			(池田 利広) (出野 文莉)		
			<u>書道研究基礎Ⅱ</u>		1			(池田 利広) (出野 文莉)		
			<u>書道自由研究Ⅰ</u>		1			(池田 利広) (出野 文莉)		
			<u>書道自由研究Ⅱ</u>		1			(池田 利広) (出野 文莉)		
			<u>実用書式の研究</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>板書実践指導</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>書道と文字学Ⅰ</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>書道と文字学Ⅱ</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>書道文化論Ⅰ</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>書道文化論Ⅱ</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>書道史</u>		2			出野 文莉 (出野 文莉)		
			<u>中国書道史</u>		2					
			<u>日本書道史</u>							
			<u>「書論、鑑賞」</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>書鑑賞論</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>書論研究</u>		2			(出野 文莉)		
			<u>「国文学、漢文学」</u>							
			<u>国文学概論A</u>		1	中 (国語) 高 (国語)	同	成實 朋子		
			<u>国文学概論B</u>		1	中 (国語) 高 (国語)	同	堀 淳一		
			<u>漢文学概論A</u>		1	中 (国語) 高 (国語)	同			

科 目	漢文学概論B	1		中 (国語) 高 (国語)	同			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	書道科教育法 I 書道科教育法 II	2 2					

●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 48単位
 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数（他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。） 0単位
 C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 16単位
 D. 教員の免許状取得のための選択科目 36単位

●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 5人
 ●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）												
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 17単位 (必要単位数の不足 7 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係		
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員					
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目		単位数	共通 開設						
高一種免 (保健体育)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 方 法 に 關 す る 專 門 的 事 項 す る 科 目	体育実技 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。) 生理学(運動生理学を含む。) 衛生学・公衆衛生学 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	水泳	1	中 (保健体育)	同	小川 剛司 太田 順康 石川 美久 鉄口 宗弘 (太田 順康)	教授 准教授 講師 助教		備考 ※1 (※1の2科目より1科目1 単位選択必修)		
			器械運動	1	中 (保健体育)	同						
			陸上競技	1	中 (保健体育)	同						
			ダンス	1	中 (保健体育)	同						
			体つくり運動	1	中 (保健体育)	同						
			剣道	1	中 (保健体育)	同					※2 (※2の7科目より1科目1 単位選択必修)	
			柔道	1	中 (保健体育)	同						
			ソフトボール	1	中 (保健体育)	同						
			バレーボール	1	中 (保健体育)	同						
			テニス	1	中 (保健体育)	同						
			サッカー	1	中 (保健体育)	同					※3 (※3の5科目より1科目2 単位選択必修)	
			バスケットボール	1	中 (保健体育)	同						
			ラグビー	1	中 (保健体育)	同						
			スキー実習	2	中 (保健体育)	同						
			スポーツ教育原理	2	中 (保健体育)	同						
			スポーツ社会学	2	中 (保健体育)	同					運動方法学を含む。 運動方法学を含む。	
			スポーツ心理学	2	中 (保健体育)	同						
			スポーツマネジメント論	2	中 (保健体育)	同						
			体育史	2	中 (保健体育)	同						
			運動学Ⅰ	1	中 (保健体育)	同						
			運動学Ⅱ	1	中 (保健体育)	同					運動方法学を含む。 運動方法学を含む。	
			武道指導論	2	中 (保健体育)	同						
			学校と地域スポーツ	2	中 (保健体育)	同						
			運動生理学Ⅰ	1	中 (保健体育)	同						
			運動生理学Ⅱ	1	中 (保健体育)	同						
			スポーツと栄養	2	中 (保健体育)	同					小児保健、精神保健、学校安全 及び救急処置を含む。 小児保健、精神保健、学校安全 及び救急処置を含む。	
			衛生学及び公衆衛生学Ⅰ	1	中 (保健体育)	同						
			衛生学及び公衆衛生学Ⅱ	1	中 (保健体育)	同						
			学校保健Ⅰ	1	中 (保健体育)	同						
			学校保健Ⅱ	1	中 (保健体育)	同						
			発育発達学	2	中 (保健体育)	同						
			保健体育科教育法Ⅰ	2	中 (保健体育)	同					保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ	
			保健体育科教育法Ⅱ	2	中 (保健体育)	同						
			保健体育科教育法Ⅲ	2	中 (保健体育)	同						

		保健体育科教育法IV	2	中 (保健体育)	同				
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数			41単位			●教職専任教員数 (教科に関する専門的事項) 5人			
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)			0単位			●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人			
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目的単位数を含む)			17単位						
D. 教員の免許状取得のための選択科目			32単位						

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）											
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 18単位 (必要単位数の不足 6 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係	
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員			備考	
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設			教授	准教授	講師	
高一種免 (家庭)	教 科 及 び 教 科 の 指 導 方 に 關 す る 專 門 的 的 に 關 す る 科 目	家庭経営学(家族関 係学及び家庭経済学 を含む。)	生活経営学 I (家庭経済学を含む。)	1	中 (家庭)	同	鈴木 真由子				備考
			家族関係学 I	1	中 (家庭)	同	小崎 恭弘				
			生活経営学 II	1	中 (家庭)	同	(鈴木 真由子)				
			家族関係学 II	1	中 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
		被服学(被服製作実 習を含む。)	被服学 I	1	中 (家庭)	同	山田 由佳子				
			被服製作実習 I	1	中 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服製作実習 II	1	中 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服学 II	1	中 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
		食物学(栄養学、食 品学及び調理実習を 含む。)	被服学 III	1	中 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服製作実習 III	1	中 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			被服学実験	2	中 (家庭)	同	(山田 由佳子)				
			食物学 I (栄養学及び食品学を含む。)	1	中 (家庭)	同	井奥 加奈				
		食物学(栄養学、食 品学及び調理実習を 含む。)	調理学実習 I	1	中 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			調理学実習 II	1	中 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			食物学 II	1	中 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			食物学 III	1	中 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
		住居学 (製図を含 む。)	調理学実習 III	1	中 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			食物学実験	2	中 (家庭)	同	(井奥 加奈)				
			住居学 I	1	中 (家庭)	同					
			住居学演習 I (製図を含む。)	1	中 (家庭)	同					
		保育学(実習及び家 庭看護を含む。)	住居学 II	1	中 (家庭)	同					
			住居学演習 II	1	中 (家庭)	同					
			住環境と安全	2	中 (家庭)	同					
			保育学 I	1	中 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
		保育学(実習及び家 庭看護を含む。)	保育学実習 I (家庭看護を含む。)	1	中 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			保育学 II	1	中 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			保育学 III	1	中 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			保育学実習 II	1	中 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
		家庭電気・家庭機 械・情報処理	保育学演習	2	中 (家庭)	同	(小崎 恭弘)				
			生活機器論 (情報処理を含む。)	2							
		教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目									
		各教科の指導法 (情 報通信技術の活用を含 む。)		中等家庭科教育法 I	2	中 (家庭)	同				
		中等家庭科教育法 II		中等家庭科教育法 II	2	中 (家庭)	同				
		中等家庭科教育法 III		中等家庭科教育法 III	2	中 (家庭)	同				
		中等家庭科教育法 IV		中等家庭科教育法 IV	2	中 (家庭)	同				
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) D. 教員の免許状取得のための選択科目							35単位	0単位	18単位	25単位	●教職専任教員数 (教科に関する専門的事項) 4人 ●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 4人

※教職専任教員数 (合計) には「各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 16単位 (必要単位数の不足8単位は「指定大学が加える科目」を充てる)	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係				
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			教職専任教員				
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	共通開設					
高一種免 (情報)	教科及び教科の指導法に関する事項	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	情報社会・情報倫理	情報倫理	2			納庄 聰		
			計算機科学	計算機科学	2		望月 久穂			
			情報処理演習	情報処理演習	2		(望月 久穂)	(納庄 聰)		
			プログラミングとグループワーク I	プログラミングとグループワーク I	2		(望月 久穂)			
			プログラミングとグループワーク II	プログラミングとグループワーク II	2		(望月 久穂)			
			プログラム言語	プログラム言語	2		(望月 久穂)			
			システムソフトウェア	システムソフトウェア	2		(望月 久穂)			
			データ構造とアルゴリズム	データ構造とアルゴリズム	2		(望月 久穂)			
			ロボット教材とプログラミングA	ロボット教材とプログラミングA	1					
			ロボット教材とプログラミングB	ロボット教材とプログラミングB	1					
			データサイエンス I	データサイエンス I	2		西出 亮			
			データサイエンス II	データサイエンス II	2		(西出 亮)			
			ソフトウェア設計・開発	ソフトウェア設計・開発	2		(西出 亮)			
			情報理論	情報理論	2		(西出 亮)			
			データベース演習	データベース演習	2		(西出 亮)			
			情報通信ネットワーク（実習を含む。）	情報通信ネットワーク	2		尾崎 拓郎			
				情報通信ネットワーク演習	2		(尾崎 拓郎)			
			マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	ICTを活用した教材開発	2					
				教育メディアの表現	2		(納庄 聰)			
				教育メディアの技術	2		(納庄 聰)			
			情報と職業	情報と職業	2		(納庄 聰)			
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	情報科教育法 I	2					
				情報科教育法 II	2					

- 単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 40単位
- B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 0単位
- C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 16単位
- D. 教員の免許状取得のための選択科目 28単位

●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人

●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）														
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 19単位 (必要単位数の不足5単位は「指定大学が加える科目」を充てる)				2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係					
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				教職専任教員						
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設		教授	准教授	講師	助教				
高一種免 (工業) 教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 事 項 科 目	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 專 門 的 事 項 科 目	工業の関係科目	木材加工学I（実習を含む。）	1	中 (技術)	同	永富 一之	成田 一人 (永富 一之)	(成田 一人)	(成田 一人)				
			製図I	1	中 (技術)	同								
			木材加工学実習	1	中 (技術)	同								
			金属加工学I（実習を含む。）	1	中 (技術)	同								
			金属加工学実習	1	中 (技術)	同								
			機械工学I	2	中 (技術)	同	篠澤 一彦 (篠澤 一彦)	(篠澤 一彦)	(成田 一人)	(成田 一人)				
			機械工学実験	1	中 (技術)	同								
			電気工学I	2	中 (技術)	同								
			電気工学実験	1	中 (技術)	同								
			情報基礎(実習を含む。)	2	中 (技術)	同								
木材加工学II（実習を含む。）				1	中 (技術)	同	光永 法明 (永富 一之)	(永富 一之)	(成田 一人)	(成田 一人)				
木材加工学III				2	中 (技術)	同								
製図II				1	中 (技術)	同								
金属加工学II（実習を含む。）				1	中 (技術)	同								
金属加工学III				2	中 (技術)	同								
機械工学II				2	中 (技術)	同	(篠澤 一彦 (篠澤 一彦))	(篠澤 一彦)	(成田 一人)	(成田 一人)				
電気工学II				2	中 (技術)	同								
電子計算機				2	中 (技術)	同								
制御・情報工学				2	中 (技術)	同								
情報基礎実習				1	中 (技術)	同								
プログラミング入門				2	中 (技術)	同	(光永 法明 (篠澤 一彦))	(篠澤 一彦)	(成田 一人)	(成田 一人)				
データ処理				2	中 (技術)	同								
情報処理				2	中 (技術)	同								
職業指導			職業指導	2										
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目														
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			工業科教育法 I	2			37単位	●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人	●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人					
			工業科教育法 II	2										
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数							●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人							
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。)							●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人							
C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)														
D. 教員の免許状取得のための選択科目														

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 <small>教科及び教科の指導法に関する科目 16単位 (必要単位数の不足 8 単位は「指定大学が加える科目」を充てる)</small>				2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学関係
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員			
	科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	共通 開設		必修	選択	学校 種等	学科 等
高一種免 (英語)	教科に 及 び 教 科 の 指 導 法 に 關 す る 科 目	英語学	英語音声学 I	2	中 (英語)	同	寺田 寛 (寺田 寛)	橋本 健一		
			英文法研究	2						
			英語音声学 II	2						
			応用言語学	2						
			英語学研究 I	2						
		英語文学	英語学研究 II	2	中 (英語)	同	(寺田 寛)			
			Introduction to English Linguistics I	2						
		英語コミュニケーション	Introduction to English Linguistics II	2	中 (英語)	同			ブール ジャステイン ペーカー	
			Integrated English I	2						
			Integrated English II	2						
			Advanced Communication I	2						
			Advanced Communication II	2						
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	Advanced Communication III	2	中 (英語)	同				
			Advanced Communication IV	2						
			Academic Writing	2						
			Speech Communication in English I	2						
		異文化理解	Speech Communication in English II	2						
			比較文化論	2						
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等英語科教育法 I	2	中 (英語)	同			
				中等英語科教育法 II	2					
				中等英語科教育法 III	2					
				中等英語科教育法 IV	2					

- 単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 40単位
- B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数 0単位
- C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 16単位
- D. 教員の免許状取得のための選択科目 32単位

● 教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人

● 必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人

※教職専任教員数（合計）には「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（幼・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 14単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
必修	選択					
幼一種免	大学が独自に設定する科目	人権教育の基礎	1	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得		
		発達障害教育論	1			
		幼小連携教育論I	1			
		幼小連携教育論II	1			
		人権教育の実践	1			
		幼児教育インターンシップ	2			
		ダイバーシティと教育	1			
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習 I	1			
		教育データの活用 I	1			
		ファシリテーターとしての教員 I	1			
		学習者中心の授業デザイン I	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習 II	1			
		教育データの活用 II	1			
		ファシリテーターとしての教員 II	1			
		学習者中心の授業デザイン II	1			
		国語（書写及びICTの活用を含む。）	1			
		社会（ICTの活用を含む。）	1			
		算数（ICTの活用を含む。）	1			
		理科（ICTの活用を含む。）	1			
		生活（ICTの活用を含む。）	1			
		音楽（ICTの活用を含む。）	1			
		図画工作（ICTの活用を含む。）	1			
		家庭（ICTの活用を含む。）	1			
		体育（ICTの活用を含む。）	1			
		英語（ICTの活用を含む。）	1			
		ピアノ表現演習 I	1			
		ピアノ表現演習 II	1			
●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）	0単位			
		・教員の免許状取得のための選択科目	33単位			
		・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計	1単位			

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（小・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 2単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
必修	選択					
小一種免		人権教育の基礎	1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて2単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から12単位を充てる。		
		発達障害教育論	1			
		小・中一貫教育概論	1			
		人権教育の実践	1			
		学校インターンシップ体験	2			
		学校インターンシップⅠ	2			
		学校インターンシップⅡ	2			
		教職インターンシップⅠ	2			
		教職インターンシップⅡ	2			
		特別支援学校インターンシップ	2			
		連携協働活動演習	1			
		<以下、指定大学が加える科目>				
		ダイバーシティと教育	1			
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習Ⅰ	1			
		教育データの活用Ⅰ	1	これら14科目より12科目選択必修		
		ファシリテーターとしての教員Ⅰ	1			
		学習者中心の授業デザインⅠ	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習Ⅱ	1			
		教育データの活用Ⅱ	1			
		ファシリテーターとしての教員Ⅱ	1			
		学習者中心の授業デザインⅡ	1			
● 単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）		12単位		
		・教員の免許状取得のための選択科目		19単位		
		・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計		1単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
		必修 選択				
中一種免 (社会)	大学が独自に設定する科目	人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 公民科探究 社会科教育学基礎論 社会科基礎演習 I 社会科基礎演習 II 社会科発展演習 I 社会科発展演習 II	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 1 1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理義に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて4単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から8単位を充てる。		
		<以下、指定大学が加える科目>				
		ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II 教職専門性と省察	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	これら14科目より8科目選択必修		
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			8単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			31単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			42単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
				必修	選択	
中一種免 (保健体育)		人権教育の基礎	1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて4単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から9単位を充てる。		
		発達障害教育論	1			
		小・中一貫教育概論	1			
		人権教育の実践	1			
		学校インターンシップ体験	2			
		学校インターンシップ	2			
		教職インターンシップ I	2			
		教職インターンシップ II	2			
		特別支援学校インターンシップ	2			
		連携協働活動演習	1			
		体育指導法演習	2			
		<以下、指定大学が加える科目>				
	大学が独自に設定する科目	ダイバーシティと教育	1			
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習 I	1			
		教育データの活用 I	1	これら14科目より9科目選択必修		
		ファシリテーターとしての教員 I	1			
		学習者中心の授業デザイン I	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習 II	1			
		教育データの活用 II	1			
		ファシリテーターとしての教員 II	1			
		学習者中心の授業デザイン II	1			

● 単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）

9単位

・教員の免許状取得のための選択科目

22単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている
単位数の合計

32単位

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
				必修	選択	
中一種免 (技術)		人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 技術科内容論	1 1 1 1 2 2 2 2 1 2	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて4単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から8単位を充てる。		
	<以下、指定大学が加える科目> 大学が独自に設定する科目	ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教職専門性と省察 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	これら14科目より8科目選択必修		

● 単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 8単位

・教員の免許状取得のための選択科目 23単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている
単位数の合計 27単位

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中・大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部・学科等		教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		単位数	備考		
		授業科目	必修 選択				
中一種免 (英語)		人権教育の基礎	1		・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて4単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から10単位を充てる。		
		発達障害教育論	1				
		小・中一貫教育概論	1				
		人権教育の実践	1				
		学校インターンシップ体験	2				
		学校インターンシップ	2				
		教職インターンシップ I	2				
		教職インターンシップ II	2				
		特別支援学校インターンシップ	2				
		連携協働活動演習	1				
		英語科評価論	2				
		中等英語科授業研究	2				
	大学が独自に設定する科目	<以下、指定大学が加える科目>					
		ダイバーシティと教育	1				
		現代社会と子どもの権利	1				
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1				
		外国人の子どもの理解と支援	1				
		教職のための省察入門	1				
		教科横断と探究学習 I	1				
		教育データの活用 I	1		これら14科目より10科目選択必修		
		ファシリテーターとしての教員 I	1				
		学習者中心の授業デザイン I	1				
		教職専門性と省察	1				
		教科横断と探究学習 II	1				
		教育データの活用 II	1				
		ファシリテーターとしての教員 II	1				
		学習者中心の授業デザイン II	1				

●単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 10単位

・教員の免許状取得のための選択科目 23単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計 32単位

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
高一種免 (国語)		人権教育の基礎	1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から10単位を充てる。		
		発達障害教育論	1			
		小・中一貫教育概論	1			
		人権教育の実践	1			
		学校インターンシップ体験	2			
		学校インターンシップ	2			
		教職インターンシップ I	2			
		教職インターンシップ II	2			
		特別支援学校インターンシップ	2			
		連携協働活動演習	1			
		道徳教育論	2			
		国語科教育入門A	1			
		国語科教育入門B	1			
		国語科資質・能力開発論 I	2			
		国語科資質・能力開発論 II	2			
		国語科授業実践論	2			
		小中連携国語学習開発論	2			
		国語科教育実践演習 I	2			
		国語科教育実践演習 II	2			
		国語教育学研究 I	2			
		国語教育学研究 II	2			
		国語教育ゼミナール I	1			
		国語教育ゼミナール II	1			
		<以下、指定大学が加える科目>				
		ダイバーシティと教育	1			
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習 I	1			
		教育データの活用 I	1	これら14科目より10科目選択必修		
		ファシリテーターとしての教員 I	1			
		学習者中心の授業デザイン I	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習 II	1			
		教育データの活用 II	1			
		ファシリテーターとしての教員 II	1			
		学習者中心の授業デザイン II	1			
●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）		10単位		
		・教員の免許状取得のための選択科目		41単位		
		・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計		19単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
高一種免 (地理歴史)	大学が独自に設定する科目	人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 道徳教育論 社会科教育学基礎論 社会科基礎演習 I 社会科基礎演習 II 社会科発展演習 I 社会科発展演習 II	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 1 1	<p>・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 • 第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から8単位を充てる。</p>		
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）	8単位		<p>これら14科目より8科目選択必修</p>		
	・教員の免許状取得のための選択科目	31単位				
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計	15単位				

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
必修	選択					
高一種免 (公民)	大学が独自に設定する科目	人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 道徳教育論 公民科探究 社会科教育学基礎論 社会科基礎演習 I 社会科基礎演習 II 社会科発展演習 I 社会科発展演習 II	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 1 1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から8単位を充てる。		
	<以下、指定大学が加える科目>	ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教職専門性と省察 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	これら14科目より8科目選択必修		
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）		8単位			
	・教員の免許状取得のための選択科目		33単位			
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 単位数の合計		11単位			

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）							
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学	
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考			
		授業科目	単位数				
必修	選択						
高一種免 (数学)	大学が独自に設定する科目	人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 道徳教育論 算数・数学教育論 数学演習 a 数学演習 b	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 1 1 1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から8単位を充てる。			
	<以下、指定大学が加える科目>	ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教職専門性と省察 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	これら14科目より8科目選択必修			
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）	8単位					
	・教員の免許状取得のための選択科目	27単位					
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計	37単位					

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
			必修 選択			
高一種免 (理科)		人権教育の基礎	1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理義に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から10単位を充てる。		
		発達障害教育論	1			
		小・中一貫教育概論	1			
		人権教育の実践	1			
		学校インターンシップ体験	2			
		学校インターンシップ	2			
		教職インターンシップ I	2			
		教職インターンシップ II	2			
		特別支援学校インターンシップ	2			
		連携協働活動演習	1			
		道徳教育論	2			
		<以下、指定大学が加える科目>				
	大学が独自に設定する科目	ダイバーシティと教育	1	これら14科目より10科目選択必修		
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習 I	1			
		教育データの活用 I	1			
		ファシリテーターとしての教員 I	1			
		学習者中心の授業デザイン I	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習 II	1			
		教育データの活用 II	1			
		ファシリテーターとしての教員 II	1			
		学習者中心の授業デザイン II	1			

● 単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 10単位

・教員の免許状取得のための選択科目 21単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている
単位数の合計 47単位

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）								
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学		
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考				
		授業科目	単位数					
高一種免 (音楽)	大学が独自に設定する科目	人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 道徳教育論 音楽教育学 音楽教育実践演習 音楽教育学研究各論演習 I 音楽教育学研究各論演習 II ＜以下、指定大学が加える科目＞ ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教職専門性と省察 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2 1 1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から8単位を充てる。				
●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）	8単位	これら14科目より8科目選択必修				
		・教員の免許状取得のための選択科目	29単位					
		・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計	37単位					

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
必修	選択					
高一種免 (美術)	大学が独自に設定する科目	人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 道徳教育論 デッサン論 美術科応用研究 I 美術科応用研究 II 美術科発展研究 I 美術科発展研究 II	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 1 1 1 1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理義に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から10単位を充てる。		
	<以下、指定大学が加える科目>	ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教職専門性と省察 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	これら14科目より10科目選択必修		
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）		10単位			
	・教員の免許状取得のための選択科目		27単位			
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 単位数の合計		32単位			

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考	
		授業科目		単位数		
				必修 選択		
高一種免 (書道)		人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 道徳教育論	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2		・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理義に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から10単位を充てる。	
	<以下、指定大学が加える科目>	ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教職専門性と省察 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		これら14科目より10科目選択必修	

● 単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 10単位

・教員の免許状取得のための選択科目 21単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計 37単位

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
必修	選択					
高一種免 (家庭)		人権教育の基礎	1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から8単位を充てる。		
		発達障害教育論	1			
		小・中一貫教育概論	1			
		人権教育の実践	1			
		学校インターンシップ体験	2			
		学校インターンシップ	2			
		教職インターンシップ I	2			
		教職インターンシップ II	2			
		特別支援学校インターンシップ	2			
		連携協働活動演習	1			
		道徳教育論	2			
		生活研究論 I	1			
		生活研究論 II	1			
		家庭科教育学演習	2			
	大学が独自に設定する科目		<以下、指定大学が加える科目>			
		ダイバーシティと教育	1			
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習 I	1			
		教育データの活用 I	1	これら14科目より8科目選択必修		
		ファシリテーターとしての教員 I	1			
		学習者中心の授業デザイン I	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習 II	1			
		教育データの活用 II	1			
		ファシリテーターとしての教員 II	1			
		学習者中心の授業デザイン II	1			
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）			8単位		
	・教員の免許状取得のための選択科目			27単位		
	・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			26単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考	
		授業科目		単位数		
				必修 選択		
高一種免 (情報)		人権教育の基礎	1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理義に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から10単位を充てる。		
		発達障害教育論	1			
		小・中一貫教育概論	1			
		人権教育の実践	1			
		学校インターンシップ体験	2			
		学校インターンシップ	2			
		教職インターンシップ I	2			
		教職インターンシップ II	2			
		特別支援学校インターンシップ	2			
		連携協働活動演習	1			
		道徳教育論	2			
		<以下、指定大学が加える科目>				
	大学が独自に設定する科目	ダイバーシティと教育	1			
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習 I	1			
		教育データの活用 I	1	これら14科目より10科目選択必修		
		ファシリテーターとしての教員 I	1			
		学習者中心の授業デザイン I	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習 II	1			
		教育データの活用 II	1			
		ファシリテーターとしての教員 II	1			
		学習者中心の授業デザイン II	1			

● 単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 10単位

・教員の免許状取得のための選択科目 21単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計 29単位

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
			必修 選択			
高一種免 (工業)		人権教育の基礎	1	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から7単位を充てる。		
		発達障害教育論	1			
		小・中一貫教育概論	1			
		人権教育の実践	1			
		学校インターンシップ体験	2			
		学校インターンシップ	2			
		教職インターンシップ I	2			
		教職インターンシップ II	2			
		特別支援学校インターンシップ	2			
		連携協働活動演習	1			
		道徳教育論	2			
		<以下、指定大学が加える科目>				
		ダイバーシティと教育	1			
		現代社会と子どもの権利	1			
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1			
		外国人の子どもの理解と支援	1			
		教職のための省察入門	1			
		教科横断と探究学習 I	1			
		教育データの活用 I	1	これら14科目より 7科目選択必修		
		ファシリテーターとしての教員 I	1			
		学習者中心の授業デザイン I	1			
		教職専門性と省察	1			
		教科横断と探究学習 II	1			
		教育データの活用 II	1			
		ファシリテーターとしての教員 II	1			
		学習者中心の授業デザイン II	1			

● 単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）

7単位

・教員の免許状取得のための選択科目

24単位

・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている
単位数の合計

23単位

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
必修	選択					
高一種免 (英語)		人権教育の基礎 発達障害教育論 小・中一貫教育概論 人権教育の実践 学校インターンシップ体験 学校インターンシップ 教職インターンシップ I 教職インターンシップ II 特別支援学校インターンシップ 連携協働活動演習 道徳教育論 英語科評価論 中等英語科授業研究	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2	・「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理義に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得 ・第2欄から第4欄までの最低修得単位数の不足単位数については、「指定大学が加える科目」から10単位を充てる。		
	大学が独自に設定する科目	<以下、指定大学が加える科目> ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 多様な子どもとインクルーシブ教育 外国人の子どもの理解と支援 教職のための省察入門 教科横断と探究学習 I 教育データの活用 I ファシリテーターとしての教員 I 学習者中心の授業デザイン I 教職専門性と省察 教科横断と探究学習 II 教育データの活用 II ファシリテーターとしての教員 II 学習者中心の授業デザイン II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	これら14科目より10科目選択必修		
●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）	10単位			
		・教員の免許状取得のための選択科目	25単位			
		・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超える単位数の合計	33単位			

様式第2号（第66条の6に定める科目）

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目					
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	学位 学士（教育学）	学位又は学科の分野 教育学・保育学
免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		備考	
		授業科目		単位数	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		
体育	2	スポーツ実技a スポーツ実技b	1 1		
外国語コミュニケーション	2	外国語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2				
		情報機器の操作	情報活用基礎I 情報活用基礎II	1 1	

様式第2号（第66条の6に定める科目）

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目					
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間） 5年専攻	入学定員 40	学位 学士（教育学）	学位又は学科の分野 教育学・保育学
免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目		備考
			授業科目		
日本国憲法		2	日本国憲法	2	
体育		2	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	1 1	
外国語コミュニケーション		2	英語Ⅱ（外国語コミュニケーション）	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
	情報機器の操作		情報活用基礎Ⅰ 情報活用基礎Ⅱ	1 1	

様式第2号（幼・教育の基礎的理解に関する科目等）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（幼・教育の基礎的理解に関する科目等）											
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 21単位	2. 学位 学士（教育学）		3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学				
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員				
	科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	共通開設	教授	准教授	講師	助教	
幼一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育総論	1	小中高義	瀬戸口 昌也				備考
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職へのとびら	1	小中高義		八田 幸恵			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校の役割と経営	1	小中高義	池上 英明 錢本 三千宏				
		学校安全		学校安全	2	小中高義	藤田 大輔				
		発達と学習の心理学		発達と学習の心理学	2	小中高義	高橋 登 小松 孝至	渡邊 創太			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎	1	小中高義		野田 航			
	道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及教育相談等の指導法及び時間等の指導法	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別支援教育の実践	1	小中高義					
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	幼児教育指導法	2						
		幼児理解の理論及び方法		幼児理解と教育相談	2						
	教育実践に関する科目	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法								教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法を含む	
		教育実習	5	教育実習（幼・小）	5	小				事前事後指導1単位含む	
		学校体験活動									
		教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2	小	牧 郁子 加藤 あや子 高松 みどり 森田 直子	柳岡 開地 岡部 舞			
● 単位数 ・ 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 21単位				● 教職専任教員数（教育の基礎的理解に関する科目等） 15人 ● 教職専任教員数（保育内容の指導法） 1人 ● 必要教職専任教員数 24人							
● 単位数 ・ 教員の免許状取得のための選択科目 1単位											

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。

様式第2号（小・教育の基礎的理解に関する科目等）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（小・教育の基礎的理解に関する科目等）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 25単位 (必要単位数の不足2単位は「指定大学が加える科目」を充てる)	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学				
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員		備考	
	科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	共通開設 学校種等	教授	准教授		
小一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育総論	1	幼中高養	瀬戸口 昌也			事前事後指導1単位含む ※5単位の選択必修
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職へのとびら	1	幼中高養	八田 幸恵			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校の役割と経営	1	幼中高養	池上 英明 錢本 三千宏			
		学校安全			2	幼中高養	藤田 大輔			
		発達と学習の心理学			2	幼中高養	高橋 登 小松 孝至	渡邊 創太		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎 特別支援教育の実践	1	幼中高養 1		野田 航		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等	教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。）	1	中高		吉田 茂孝		
		道徳の理論及び指導法	10	道徳教育論	2	中養	金光 靖樹	小林 将太		
		総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1	中高養			森本 和寿	
		特別活動の指導法		特別活動論	1	中高養			(森本 和寿)	
	教育実践に関する科目	教育の方法及び技術		教育方法論	1	中高		(吉田 茂孝)		事前事後指導1単位含む ※副免として小免を取得する場合に限る
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と方法	1	中高			若杉 祥太	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	1	中高養				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法	1	中高養	水野 治久 上田 裕美 大河内 浩人			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導論	1	中高				
	教育実習に関する科目	教育実習	5	教育実習（幼・小） 教育実習（小） 教育実習（小・中） 併修教育実習（小）	5 5 5 3	幼 中			※2単位の選択必修	
		学校体験活動								
		教職実践演習		教職実践演習（幼・小） 教職実践演習（小・中・高）	2 2	幼 中高	牧 郁子 (瀬戸口 昌也) (石川 聰子) (小松 孝至)	加藤 あや子 高松 みどり 菱田 直子 (吉田 茂孝) (小林 将太)	柳岡 開地 西内 舞	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）				25単位		●教職専任教員数（教育の基礎的理解に関する科目等）	23人		
	・教員の免許状取得のための選択科目				1単位		●教職専任教員数（各教科の指導法）	10人		
							●必要教職専任教員数	28人 (昼間と夜間の課程を合わせる)		

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。

様式第2号（小・教育の基礎的理解に関する科目等）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（小・教育の基礎的理解に関する科目等）										
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間）5年専攻	入学定員 40	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 25単位 (必要単位数の不足2単位は「指定大学が加える科目」を充てる)	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学				
認定を受けようとする免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			教職専任教員				
	科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数 必修 選択 学校種等	共通開設	教授	准教授		
小一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育総論	1		(瀬戸口 昌也)			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職へのとびら	1		(八田 幸恵)			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校の役割と経営	1		(池上 英明) (錢本 三千宏)			
		学校安全 a			1		(藤田 大輔)			
		学校安全 b			1		(藤田 大輔)			
		発達と学習の心理学 a			1					
		発達と学習の心理学 b			1					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	10	特別支援教育の基礎 特別支援教育の実践	1	1	(野田 航)			
		教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。）	1		(吉田 茂孝)			
		道徳の理論及び指導法		道徳教育論 a	1					
		総合的な学習の時間の指導法		道徳教育論 b	1					
		特別活動の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1			(森本 和寿)		
		教育の方法及び技術		特別活動論	1			(森本 和寿)		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法論	1		(吉田 茂孝)			
教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	5	ICT活用の理論と方法	1			(若杉 祥太)		
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		生徒指導論	1					
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談の理論と方法	1		(水野 治久) (上田 裕美) (大河内 浩人)			
		教育実習		進路指導論	1					
		学校体験活動								
●単位数	教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）	教育実習 I	2							
		教育実習 II								
●教員の免許状取得のための選択科目		教職実践演習（小）	2							
●教職専任教員数（教育の基礎的理解に関する科目等）					0人					
●教職専任教員数（各教科の指導法）					0人					
●必要教職専任教員数					28人 (昼間と夜間の課程を合わせる)					

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。

様式第2号（中高・教育の基礎的理解に関する科目等）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（中高・教育の基礎的理解に関する科目等）										
認定を受けようとする学部・学科等		教育学部	学校教育教員養成課程		入学定員合計 480	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 中一種免25単位、高一種免21単位 (必要単位数の不足2単位は「指定大学が加える科目」を充てる)		2. 認定を受けようとする免許状の種類 中高一種免（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語） 高一種免（地理歴史、公民、書道、情報、工業）		
開設体制	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			教職専任教員			
	科目	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数 必 選	共通開設 学校種等	教授	准教授	講師 助教	
大学において共通開設（ただし、一部科目は教育協働学科にて開設） 共通開設する学科等の入学定員の合計（今回申請する学科等以外も含む。） 900人	教育の基礎的理解に関する科目 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	10	教育総論	1	幼小養	瀬戸口 昌也				中免のみ
			教職へのとびら	1	幼小養		八田 幸恵			
			学校の役割と経営 学校安全	1 2	幼小養 幼小養	池上 英明 錢本 三千宏 藤田 大輔				
			発達と学習の心理学	2	幼小養	高橋 登 小松 孝至	渡邊 創太			
			特別支援教育の基礎 特別支援教育の実践	1 1	幼小養 幼小養		野田 航			
			教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。）	1	小		吉田 茂孝			
	道徳 総合的な学習 特別活動 教育の方法 情報通信技術を活用した教育 生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	中10 高8	道徳教育論	2	小養	金光 靖樹	小林 将太			事前事後指導1単位含む ※中免は5単位必修、高免は3単位必修 事前事後指導1単位含む ※副免として中・高免を取得する場合に限る
			総合的な学習の時間の指導法	1	小養			森本 和寿		
			特別活動論	1	小養			(森本 和寿)		
			教育方法論	1	小		(吉田 茂孝)			
			ICT活用の理論と方法	1	小			若杉 祥太		
			生徒指導論	1	小養					
			教育相談の理論と方法	1	小養	水野 治久 上田 裕美 大河内 浩人				
	教育実践に関する科目 教育実習 学校体験活動 教職実践演習	中5 高3	進路指導論	1	小					
			教育実習（小・中）	5	小					
			教育実習（中・高）	3						
			併修教育実習（中・高）	3						
●単位数 ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） ・教員の免許状取得のための選択科目	中25単位／高21単位 中4単位／高1単位	●教職専任教員数（教育の基礎的理解に関する科目等） 中17人／高15人 ●教職専任教員数（各教科の指導法） 中0人 ●必要教職専任教員数 中3人／高3人				中0人 ／高0人				

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。

様式第2号（特別支援教育に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織（特別支援教育に関する科目）									
認定を受けようとする学部・学科等	教育学部	学校教育教員養成課程	入学定員 420	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 ・特別支援教育に関する科目 26単位	2. 学位 学士（教育学）	3. 学位又は学科の分野 教育学・保育学			
認定を受けようとする免許状の種類（特別支援教育領域）	免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目				教職専任教員		
			授業科目	単位数	中心となる領域	含む領域			
				必修 選択		教授	准教授		
特支一種免 (視覚障害者) (聴覚障害者) (知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)	特別支援教育の基礎理論に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 特別支援教育領域に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2 16 5	特別支援教育総論	2			富永 光昭		
			インクルーシブ教育システム基礎論	2					
			障害理解教育論	2					
			視覚障害心理	2	視覚障害者		山本 利和		
			視覚生理・病理	2	視覚障害者		(山本 利和)		
			視覚障害アセスメント論	2	視覚障害者		西山 健		
			聴覚障害心理	2	聴覚障害者		(井坂 行男)		
			聴覚音声生理・病理	2	聴覚障害者		(井坂 行男)		
			聴覚障害アセスメント論	2	聴覚障害者				
			知的障害者の心理・生理・病理	2	知的障害者				
特別支援教育領域に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障害教育 聴覚障害指導論 点字指導法 視覚障害歩行指導法 聴覚障害教育 聴覚障害指導論 言語指導法 手話学習の基礎 知的障害教育 知的障害指導論 肢体不自由教育 肢体不自由指導論 障害児のキャリア教育 病弱教育 病弱指導論	2 16 5	障害児アセスメント論	2	知的障害者	視覚障害者 聴覚障害者 肢体不自由者 病弱者	(西山 健)		
			肢体不自由者の心理・生理・病理	2	肢体不自由者				
			病弱者の心理・生理・病理	2	病弱者				
			病弱者の心理と健康行動学	2	病弱者		平賀 健太郎 (平賀 健太郎)		
			視覚障害教育	2	視覚障害者				
			視覚障害指導論	2	視覚障害者		(山本 利和)		
			点字指導法	2	視覚障害者		(山本 利和)		
			視覚障害歩行指導法	2	視覚障害者		(山本 利和)		
			聴覚障害教育	2	聴覚障害者		井坂 行男		
			聴覚障害指導論	2	聴覚障害者				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達	言語指導法	2	聴覚障害者				
			手話学習の基礎	2	聴覚障害者				
			知的障害教育	2	知的障害者				
			知的障害指導論	2	知的障害者				
			肢体不自由教育	2	肢体不自由者				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達	肢体不自由指導論	2	肢体不自由者	視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 病弱者			
			障害児のキャリア教育	2	肢体不自由者				
			病弱教育	2	病弱者		(富永 光昭)		
			病弱指導論	2	病弱者				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心	発達	障害者の心理・生理・病理	2	発達	視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者	(山本 利和) (西山 健)	(平賀 健太郎) (今枝 史雄)	言語・情緒
			特別支援教育実践論	2	発達	視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者	(富永 光昭) (井坂 行男)	(正井 隆晶) (今枝 史雄)	LD
			特別支援教育コーディネーター基礎論	2		視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者			
			ユニバーサルデザイン授業論	2	発達	視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者			LD

理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	<u>発達障害指導論</u>	2	発達						情緒・LD・ADHD
	<u>重複障害教育</u>	2	重複						重複
	<u>言語障害教育</u>	2	発達						言語
	<u>発達障害教育</u>	2	発達						重複・言語・自閉・情緒・LD・ADHD
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習 併修特別支援教育実習	4 3	(西山 健)				事前事後指導1単位含む 事前事後指導1単位含む ※副免として特支免を取得する場合に限る
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む)	40 単位	●教職専任教員数 (合計)	① 1人 ② 視 1人／聴 1人／知肢病 1人 ③ 視 1人／聴 1人／知肢病 1人					
	・教員の免許状取得のための選択科目	38 単位	●必要教職専任教員数	7人					

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。

★ 「中心となる領域」についての単位数記載

- 視覚障害者に関する教育の領域 : 8単位/8単位 (心理等: 4単位/1単位、教育課程等: 4単位/2単位、心理・教育課程等: 0単位)
- 聴覚障害者に関する教育の領域 : 8単位/8単位 (心理等: 4単位/1単位、教育課程等: 4単位/2単位、心理・教育課程等: 0単位)
- 知的障害者に関する教育の領域 : 4単位/4単位 (心理等: 2単位/1単位、教育課程等: 2単位/2単位、心理・教育課程等: 0単位)
- 肢体不自由者に関する教育の領域 : 4単位/4単位 (心理等: 2単位/1単位、教育課程等: 2単位/2単位、心理・教育課程等: 0単位)
- 病弱者に関する教育の領域 : 4単位/4単位 (心理等: 2単位/1単位、教育課程等: 2単位/2単位、心理・教育課程等: 0単位)

①: 特別支援教育の基礎理論に関する科目

②: 特別支援教育領域に関する科目のうち、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目

③: 特別支援教育領域に関する科目のうち、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目